

Yukimi Kambe Viol Consort

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団

神戸愉樹美 小澤絵里子 野口 真紀 橋爪 香織

もくじ

1. 神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団 プロフィール	p. 2
2. 主な活動のリスト	p. 3 - 11
3. “合奏団を語る” 批評・コメント集	p.12 - 16
4. プログラム案	p.17 - 21
5. プレス用写真	p.22
6. 初演曲のリスト	p.23 - 26
7. CD、楽譜、出版リスト	p.27 - 28
8. ヴィオラ・ダ・ガンバとは？	p.29



〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 808-2 大倉山ハイム 8-108

Tel. 045-532-2696 Fax. 045-532-2697

URL: www.ykvc.jp E-Mail: 2004-info2@ykvc.jp

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団

神戸愉樹美が1983年に結成したガンバ・コンソート。16、17世紀西欧のルネサンス音楽特有の「融和した響き」を、魅力ある新しい素材として捉え、常に古典曲に現代曲にとレパートリーを広げながら活動を続けている。古典にはない数々の技で、クラシックからポップスまで柔軟に対応できる合奏団として注目を集めている。どうやら世界でも珍しい活動をしているガンバ・コンソートらしい。

発足以来、主催・依頼公演の他、チャリティー、レクチャー、クリスマス・コンサート、イベント、パーティー、子供向け、作曲家のための実験室、TV・ラジオ出演等、東京をはじめ各地で公演。過去8回渡米しうち4回は国際交流基金助成、喝采を浴びる。この他、ドイツ、フランス、ベルギーへもあしをのぼす。近年CD録音、楽譜の出版を始めた。

共演者はリコーダー、チェンバロ、リュート等の古楽器、古楽アンサンブルの他、歌、語り、合唱、笙、胡弓、篠笛、和太鼓、シタールと多彩。変わったところでは、日本の現代版画、ファッション・ショーとのコラボレーションも。さてお次は…つまり、この愛すべき響きを聴きたい方のあるところ、いつでも何処でも出かけて行ってお聴かせしたい私たちであります。

ディレクター
神戸愉樹美

フェリス女学院短期大学音楽科卒 パーゼル市立音楽院古楽科卒 ヴィオラ・ダ・ガンバ専攻
ハーグ王立音楽院留学 大橋敏成、HL ミュラー、W. クイケンに師事 帰国後リサイタル、録音、NHK・NTV・TBSの番組などに出演して古楽奏者として活躍 '83-84 日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会会長
神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団主宰 訳書、著作、論文、録音もある
現在、国立音楽大学、フェリス女学院大学音楽学部講師

メンバー

小澤絵里子	フェリス女学院短期大学音楽科卒業	池袋コミュニティカレッジ、東京古典楽器センター講師
野口 真紀	国立音楽大学卒業	エコール・ヨコハマ講師
橋爪 香織	国立音楽大学卒業	読売文化センター横浜、東京古典楽器センター講師

* 5人以上の編成の場合は随時増員して対応いたします

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団 活動記録

—主催公演—

現代ヴィオール・コンソート展・・・古典曲のほか、毎回新作を委嘱し発表している演奏会。廣瀬量平「高雅な猫のための組曲」、増本伎共子「宮廷のさざめき」、林 光「河は百の塔の影をうかべる」—柳 慧「Space Line」、西村朗「瑠璃光の庭」、有馬礼子「琉球風絃歌」、高橋伸哉「3つのベンチで」、佐藤容子「想花」他、多くの現代作品を世に送り出した同時代人感覚の強いシリーズ。特に記さない限り当団主催。

演奏会名	場所	日付	備考
現代ヴィオール・コンソート展	音楽の友社ホール(東京)	1985.6.16	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅱ —古典と現代の作品より—	石橋メモリアルエオリアンホール(東京)	1986.6.27	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅲ —新しい音 5つの個性 ヴィオール・コンソートの世界—	石橋メモリアルエオリアンホール(東京)	1987.10.29	日本作曲家協議会主催
現代ヴィオール・コンソート展Ⅳ —禁られた遊び…しかしまじめに…—	スペース桐里(東京)	1989.5.21	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅴ	霊南坂教会(東京)	1990.5.22	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅵ “コンソート ア・ラ・カルト” “水野勉コンソート曲選” “ヘンリー・パーセルのタバ”	アコ・スタディオ(東京)	1991.11.17 1991.11.22 1991.11.29	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅶ “ジェンキンスのタバ” “クリスマス・コンサート”	石橋メモリアルエオリアンホール(東京) 霊南坂教会(東京)	1992.10.27 1992.11.24	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅷ —コンソートで新発見!—	石橋メモリアルエオリアンホール(東京)	1993.12.9	
現代ヴィオール・コンソート展Ⅸ —アジアの趣き—	北とびあ・つつじホール(東京)	1994.10.4	アーティスト・ギルデン主催 新しい世代の芸術祭 '94
現代ヴィオール・コンソート展Ⅹ その1 うたとコンソート その2 現代曲ばかりのタバ —宝づくし— その3 ヘンリー・パーセルのタバ —天才魔術師のパズル—	三崎町教会(東京) " 石橋メモリアルエオリアンホール(東京)	1995.5.19 1995.10.24 1995.11.23	ゲスト: 木島千夏(ソプラノ)
現代ヴィオール・コンソート展Ⅺ —琥珀色の煌めき—	三崎町教会(東京)	1996.11.29	ゲスト: 竹内太郎(リュート)
現代ヴィオール・コンソート展Ⅻ —神話と民話—	カトリック本郷教会(東京)	1997.11.18	ゲスト: 小栗純一(語りと歌)
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅢ —瑠璃色の静寂と光—	カトリック本郷教会(東京)	1998.12.11	
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅣ —緑の絨毯 風わたる—	キリスト品川教会(東京)	1999.10.29	ゲスト: 石鍋多加史 (語りと歌)
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅤ —ヴィオール七変化—	カトリック本郷教会(東京)	2000.10.21	ゲスト: 篠原大作(語り)
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅥ —ゆらめく綾 笑壺のうつつふ—	カトリック本郷教会(東京)	2001.11.22	
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅦ —おてんばガンバー—	カトリック本郷教会(東京)	2002.11.28	
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅧ —八花繚乱—	カトリック本郷教会(東京)	2003.11.20	
現代ヴィオール・コンソート展ⅫⅨ —Something Old, Something New, Something Borrowed, and Some Blues 彼方から—	カトリック本郷教会(東京)	2004.11.26	

演奏会名	場所	日付	備考
現代ヴィオラ・コンソート展 XX —旬— 名シェフたちの饗宴	カトリック本郷教会(東京)	2005.11.22	
現代ヴィオラ・コンソート展 XXI —東西壺中—	カトリック本郷教会(東京)	2006.11.26	ゲスト:宮田まゆみ(笙)
現代ヴィオラ・コンソート展 XXII —古酒と新酒—	カトリック本郷教会(東京)	2007.12.8	
現代ヴィオラ・コンソート展 XXIII —悠久のオリエント—	カトリック本郷教会(東京)	2008.12.9	ゲスト:小日向英俊 (シタール)
現代ヴィオラ・コンソート展 XXIV —こかげで—	カトリック本郷教会(東京)	2010.5.30	
現代ヴィオラ・コンソート展 XXV —エッサッサー—	カトリック本郷教会(東京)	2011.11.27	

一般に広くガンバを知っていただきたいと企画した名曲選

演奏会名	場所	日付	共演 他
「コンソート音楽の邂逅」	ドイツ文化センター(京都)	1991.4.8	ハンブルク・リコーダー・ アンサンブル
	霊南坂教会(東京)	1991.4.12	
「ガンバ・コンソート諸所五方」 —昔、都ではやりしもの、今もかわらぬ 新しき音へのときめき—	アトリエ彩(川口)	1992.7.7	
	サンハート(二俣川)	1992.7.9	
	アコ・スタディオ(原宿)	1992.7.1	
	カンマーザール(立川)	1992.7.11	
	鶴沼めぐみルーテル教会(藤沢)	1992.7.12	
「ガンバ・コンソート諸所五方 '93」	フォーゲルヴァイデ(新潟)	1993.7.7	
	バーンビレッジホール(磐田)	1993.7.1	
	スタジオ・ルンデ(名古屋)	1993.7.12	
	ペンション・モーツアルト(山中湖)	1993.7.17	
	千葉三越百貨店(千葉)	1993.7.3	
「コンソート音楽のタベ」	みなとみらいホール(横浜)	1998.12.6	
「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2000.6.30	
	ひじり館ホール(多摩)	2000.7.8	
「どっぴりパッパ」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2004.6.27	
「亡き人を偲ぶ」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2005.6.24	
北米ツアー帰国記念コンサート 「人気投票 お気に召すまま」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2006.4.21	共催:YKVC 後援会
「デザートビュッフェ」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2007.6.8	
「猫とその仲間たち」	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2008.6.11	
クリスマス・コンサート	東京オペラシティ近江楽堂(東京)	2010.12.17	

—国内公演—

演奏会名	主催	場所	日付	共演 他
「第1回作品募集本選会」	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会	石橋メモリアル エオリアンホール (東京)	1984.12.16	
「第1回アーリー・ミュージック・フェスティ バル」	アーリー・ミュージック・プロジェ クト	バリオホール(東京)	1986.2.11	
「第2回作品募集本選会」	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会	石橋メモリアル エオリアンホール (東京)	1986.12.7	
「古今のヴィオラ・コンソート」	スペース桐里	スペース桐里(東京)	1988.5.15	企画:一柳 慧
「語り言葉コンサート」	言葉の散歩道の会	ニッショウホール(東京)	1988.11.25	花形恵子、篠原大 作

演奏会名	主催	場所	日付	共演 他
「NOBUNAGA IN PERIOD」中世・古楽器の音色を楽しむ		コア石響(東京)、ハイドン(京都)、ステイマーザール(滋賀)、大阪能楽堂(大阪)	1992.10.21、11.7、11.8、11.9	
「'92 京都国際音楽祭」ルネサンスの煌きを今。…名刹建仁寺(方丈)でー		建仁寺(京都)	1992.11.14	
第43回大原美術館ギャラリー・コンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロの雅な響き」		大原美術館(倉敷)	1993.1.23	渡邊順生
「形に風を聴き」「音に虹を見る」ー伊佐雄治シルクスクリーン版画展ーにて		アートギャラリー・マリポーザ(東京)	1993.7.24~25	
Harmony 'NARA' CONCERT Vol.7「心の歌声」	ハーモニー“寧楽”	トヨタカローラアベニュートミオ、奈良市ならまちセンター(奈良)	1994.2.18、11.19	武田直美、坂本利文
第54回 ミュージアム・コンサート「ヴィオール・コンサート古今の名曲選」		中本誠司個人美術館(仙台)	1994.7.17	
東海ふれあい院内コンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバ五重奏のタペ〜心も身体もなごむひととき〜」		東海大学医学部付属病院ロビー(伊勢原)	1994.10.21	
「形に風を聴き」「音に虹を見る」ー伊佐雄治展シルクスクリーン版画とモノタイプーにて		木の家(仙台)	1995.4.22	
フェリス白菊会総会	フェリス白菊会	フェリス女学院カインパー記念講堂(横浜)	1995.6.3	
日本バイオミュージック学会総会「ミニコンサート」	日本バイオミュージック学会	シェンバツハ・サポー(東京)	1996.6.8	志水哲雄
大倉山水曜コンサート vol.589「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソートの響き」	大倉山水曜コンサート	大倉山記念館(横浜)	1996.9.18	
ガンバ協会コンサート集	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会	鷹の羽スタジオ(東京)	1996.11.17	武田直美
「ルネサンス時代の“個性と調和”」	フェリス同窓会 東京支部	アルカディア市ヶ谷 私学会館(東京)	1997.10.3	
「土田京子の“音楽のスズメ” 第2回ーJ.S.バッハと息子たちに関連してー」	三鷹市芸術文化振興財団	三鷹芸術文化センター(三鷹)	1997.10.16	
ロバハウスライブ 68「おいしいガンバ・コンサート」 102 ヴィオラ・ダ・ガンバと日本の胡弓「糸のメルヘン」 168「ヴィオラ・ダ・ガンバで世界の旅」	ロバハウス	ロバハウス(立川)	1997.10.10 2002.6.30 2009.3.22	高橋翠秋(胡弓) 松本更紗(ガンバ、ダンス)
144 th 桂台音楽村サロンコンサート	桂台音楽村	鎌倉芸術館(鎌倉)	1997.11.1	
第9回クラシックコンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバで聞く古今のコンサート音楽の響き」	ろばの会	神奈川大学(神奈川)	1998.6.19	
楽しいクラシックの会 ミニコンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバの典雅な世界へ」	楽しいクラシックの会	カンマーザール in 立川(東京)	1998.6.20	
第18回交流会「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンサート〜古今の名曲選〜」	レスナーズ・サークル交流会	新宿クラッセ ミスタホール(東京)	1998.10.29	
創立129年記念演奏会「ヴィオラ・ダ・ガンバと私」	フェリス女学院中学・高等学校	みなとみらい大ホール(横浜)	1999.6.1	
平沼集会所サロン・コンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバ音楽のひととき」		平沼集会所(横浜)	1999.6.13	
谷間のコンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバの響き」	南アルプスクラブ	広河原山荘(南アルプス)	1999.10.24	
平沼集会所サロン・コンサート「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」		平沼集会所(横浜)	2000.10.14	
「北海道ツアー」		札幌中央教会(札幌)、西尾サロ(小樽)、市川信一郎宅(旭川)	2001.4.28、29、30	
「サロンコンサート」	ギタルラ社東京古典楽器センター	ギタルラ社 2F(東京)	2001.10.28	
第44回弦楽器フェア「ヴィオラ・ダ・ガンバによるコンサート音楽」	日本弦楽器製作者協会	科学技術館サイエンスホール(東京)	2001.11.2	
津田玲子ピスコドール展「そのとき奏でられていた音楽」		世界観ギャラリー(東京)	2001.11.4	津田真由美
平成14年度OPC 総会「ミニコンサート」		神田如水会館(東京)	2002.4.14	

演奏会名	主催	場所	日付	共演 他
ヴィオラ・ダ・ガンバ「コンソート音楽の夕べ」	慶應義塾大学日吉芸術ホールプロジェクト	慶應義塾大学日吉キャンパス(横浜)	2002.11.29	
千代田女学園 第48回校内音楽会	千代田女学園	千代田女学園大講堂(東京)	2002.12.3	
大倉山水曜コンサート vol.888「東と西の宮廷楽器の饗宴」	大倉山水曜コンサート	大倉山記念館(横浜)	2003.1.29	宮田まゆみ(笙)
多文化間精神医学学会「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンソート音楽の夕べ」	第10回多文化間精神医学会	明治学院大学アートホール(東京)	2003.3.14	
横浜市立大学医学部付属病院「ミニコンサート」		横浜市大病院 1F ロビー(横浜)	2003.7.24	
フェリス白菊会「源氏物語へのいざない」夕顔の巻	フェリス白菊会	フェリス女学院カイパー記念講堂(横浜)	2003.9.27	藤村志保、宮田まゆみ
フェリス白菊会「16世紀ヴィオラ・ダ・ガンバが実現した宇宙の調和」	フェリス白菊会	フェリス女学院カイパー記念講堂(横浜)	2006.6.3	
有馬礼子作曲活動50周年記念コンサート	日本ウエストミンスター株式会社	紀尾井ホール(東京)	2004.10.25	
田中本家博物館「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソートの夕べ」	(財)田中本家博物館	田中本家博物館(須坂)	2005.9.18	
地域ふれあいコンサート 「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンソート 融和した響き」 「古楽器ガンバの四重奏が奏でる不思議な世界」	沼津市教育委員会 NPO 沼津文化協会	沼津市立第五中学校(沼津) 沼津市長井崎中学校(沼津)	2006.11.18 2011.11.2	
BENA おしゃべりコンサート ～本物との出会い～	(株)エルヴィエント音楽事業部 HASCL	BENA(東京・東大和)	2007.2.24	
第26回 KEK コンサート ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソート音楽の夕べ	高エネルギー加速器研究機構 KEK Concert Organizing Committee	KEK 研究本館 1階レクチャー ホール(筑波)	2008.4.18	
YMA クラシックライブ「ヴィオラ・ダ・ガンバが奏でる宮廷の雅」	横浜美術館	横浜美術館グランドギャラリー	2008.9.5	
ラ・フォル・ジュネ・オ・ジャポン 2009 「リコーダーでバロック体験！」 「リュウベック広場コンサート」	梶本音楽事務所	国際フォーラム(有楽町)	2009.5.4、5 2009.5.5	
佐藤一也ヴィオラ・ダ・ガンバ展	佐藤一也	ギャラリーパリ(横浜)	2009.9.23	
第58回明治学院バツハ・アカデミー 「ヴィオール・コンソートの愉しみ」	明治学院バツハ・アカデミー	明治学院チャペル	2009.12.12	
ヴィオラ・ダ・ガンバの世界 イブニング コンサート	「ヴィオラ・ダ・ガンバの世界」 実行委員会	北とぴあ ペガサスホール	2010.12.12	
チャリティー・コンサート				
「愛のコンサート X 音楽は世界を結ぶ」	柏朋会(会長三笠宮寛仁親王殿下)	東京郵便貯金ホール(東京)	1984.6.29	東京リコーダー・クワルテット
第3回聖イグナチオ教会建設募金チャリティーコンサート「コンソート音楽の邂逅」	聖イグナチオ教会建設募金委員会	聖イグナチオ教会(東京)	1993.10.8	ハンブルク・リコーダー・アンサンブル
感応寺チャリティー・コンサート「古楽器による演奏会」	感応寺	感応寺(静岡)	1993.10.11	戸崎廣乃ほか
「愛のコンサート」	柏朋会	メルパルクホール(東京)	1993.10.21	ザ・スコラーズ
神戸榎樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団コンサート—ロシアの学生の学費援助のために—	かけはしの会	霊南坂教会(東京)	1994.11.1	
「岡村光玉チャリティー・コンサート」	岡村光玉後援会・野の花舎	奈良県文化会館国際ホール(奈良)	1995.12.27	
レクチャー・コンサート				
レクチャー・コンサート「現代復興ルネッサンス ヴィオラ・ダ・ガンバ・ファンタジーの世界」	西武スタジオ 200	西武スタジオ 200(東京)	1984.10.8～9	
レクチャー・コンサート「現代復興ルネッサンス ヴィオラ・ダ・ガンバ、詞と音楽の交差点」	西武スタジオ 200	西武スタジオ 200(東京)	1986.3.18～19	
神奈川県大学公開講座「今、なぜ古楽か」		フェリス女学院短期大学(横浜)	1986.10.4,11	

演奏会名	主催	場所	日付	共演 他
市民大学講座「現代におけるヴィオール・コンサート」	横須賀市教育委員会	市立中央図書館(横須賀)	1988.12.4	
レクチャー・コンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバの世界」	フェリス女学院大学音楽科	フェリス・チャペル(横浜)	1990.11.17	
オープンセミナー『パースペクティヴ』		藤田現代音楽資料センター(東京)	1994.2.5	
明治学院大学レクチャー・コンサート「ヴィオール・コンサートの愉しみ」	明治学院大学文学部芸術学科	明治学院大学横浜校舎チャペル(横浜)	2000.10.20	
平成16年度 第4回ポーラ文化セミナー「古楽器の魅力を探訪する」ヴィオラ・ダ・ガンバ レクチャー&コンサート	ポーラ文化研究所	POLA Museum Annex(銀座)	2004.12.21	
チェンバロ講座Vol. IV(全5回) ~ルネサンス バロック そして古典派~ 第1回 ガンバコンサート	(財)西東京市文化・スポーツ振興財団	保谷こもれびホール メインホール(東京・西東京市)	2005.9.22	加久間朋子
フェリス女学院大学大学院音楽研究科・演奏専攻・器楽演奏研究 7「古楽の愉しみ ヴィオラ・ダ・ガンバの魅力」	フェリス女学院大学音楽学部	フェリスホール	2011.7.4	
クリスマス・コンサート				
クリスマス舞踏会	古典舞踏研究会	YMCA ホテル(東京)	1983.12.25	備考:以降1987年まで毎年出演
クリスマス讃美燭火礼拝	日本キリスト教団駒込教会	駒込教会(東京)	1993.12.24	
第9回クリスマス讃美礼拝	東京教区東支区音楽部委員会	富士見町教会(東京)	1994.12.16	
「クリスマス・キャロル」	池袋コミュニティー・カレッジ	西武百貨店コミュニティー・カレッジ(東京)	1994.12.18	五十嵐郁子
クリスマス・ディナーショー	千葉厚生年金休暇センター	千葉厚生年金休暇センター(千葉)	1994.12.22	
第9回クリスマス讃美礼拝と歌う集い	日本基督教団東支区・音楽委員会	富士見町教会(東京)	1995.12.19	
「クリスマス・コンサート」	日本キリスト教団 茅ヶ崎香川教会	日本キリスト教団 茅ヶ崎香川教会(神奈川)	1996.12.24 2000.12.23 2003.12.23 2004.12.23 2006.12.23 2009.12.23	
「ヴィオラ・ダ・ガンバでクリスマス」	日本コンサート協会	ティアラこうとう(東京)	1999.12.17	石鍋多加史
第3回グリーンコンサート「アンサンブルの愉しみ」ークリスマスと古今の名曲ー	フェリス女学院大学生涯学習課	フェリス女学院大学礼拝堂(横浜)	2000.12.14	
「クリスマス・コンサート」	鷗友学園	鷗友学園ホール	2007.12.1	
降誕前夜 燭火礼拝式総額	日本キリスト教団まぶね教会	まぶね教会(川崎)	2007.12.24	
「ヴィオラ・ダ・ガンバで奏でるクリスマス・コンサート」	港区 Kiss ポート財団	高輪区民センター・ホール	2011.12.18	
イベント、冠婚葬祭				
演奏会名	主催	場所	日付	共演 他
日産シーマ 発表展示会		銀座日産ショールーム(東京)	1991.8.22	
釧路全日空ホテル開業披露宴		全日空ホテル(釧路)	1993.5.22	
厚生年金会館創立50周年記念パーティー		厚生年金会館(東京)	1993.11.21	
株式会社日本文字放送 10周年謝恩パーティー		経団連会館12階(東京)	1995.11.9	
夏期講習会終了パーティー	古典舞踏協会	森のホール21(松戸)	1996.9.1	
木の実会パーティー		京王プラザホテル(東京)	1998.10.11	
「大岡信さんの文化勲章受賞をお祝いする会」		ホテルメトロポリタンエドモンド(東京)	2004.1.20	
水野勉氏を囲んで「花鳥猫風月」完結祝い会	YKVC	東京會館パビヨン	2006.7.29	

演奏会名	主催	場所	日付	備考
子供向け				
「親子できこうヴィオラ・ダ・ガンバのコンサート」	大倉山子供会	大倉山ハイム集会室(横浜)	1998.5.9 1999.5.22 2000.5.20	松堂久美恵(ソプラノ)1998年のみ
大田こども劇場音楽例会 「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンサート」 「神戸榎樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団コンサート 花鳥猫風月」 「ヴィオラ・ダ・ガンバ・コンサート」 「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンサート花鳥猫風月」	大田こども劇場	大田区民プラザ小ホール(東京) 大田区民プラザ大ホール 大田文化の森ホール 大田区民ホール アプリコ	2001.3.13 2004.4.30 2007.4.27 2011.9.28	
第4回夏の子ども音楽祭「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンサート」	子どもの音楽文化協会	江東区古石場文化センター	2002.8.31	
「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンサート～花鳥猫風月～」	町田子ども劇場	ひなた村カリヨンホール(東京)	2004.6.20	
ヴィオラ・ダ・ガンバ コンサート	かしの木山おやこ芸術劇場	成瀬センターホール	2005.4.16	
合唱団				
第2回～第5回定期演奏会	アルカディア合唱団	巻文化会館大ホール、だいしホール(新潟)	1994.10.8 1995.10.14 1997.12.23 1999.12.26	
第5回定期演奏会	アンサンブルクライス	川口リリア音楽ホール(埼玉)	1999.6.27	
「われらがイエスの四肢」ブクステフーデ作曲	明治学院大楽 宗教部・宗教センター・芸術学科共催	明治学院白金校舎チャペル(東京)	1999.12.8	
「17世紀・神秘の受難楽」	ハインリッヒ・シュッツ合唱団	東京カテドラル聖マリア大聖堂(東京)	2003.4.4	
シュッツ宗教合唱曲集(全29曲)	ハインリッヒ・シュッツ合唱団	東京カテドラル聖マリア大聖堂(東京)	2005.9.16	

—海外公演—

演奏会名	主催	場所	日付	備考
「Consort Music」	アメリカ・ヴィオラ・ダ・ガンバ協会	ロイヤル・メリマウント大学 マーフィホール(ロス・アンゼルス)	1988.8.1	国際交流基金援助
「Four-part Consort Music from Japan」		ボストン パーク プラザ ホテル(ボストン)	1997.6.13	
Conclave 2000 「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」		リード大学 チャペル(ポートランド)	2000.7.25	
Conclave 2004 「Musica Transpacifica」		ピューージェット・サウンド大学(タコマ)	2004.7.26	共演: D.ローブ
Conclave 2004 「Something Old, Something New, Something Borrowed, and SomeBlues」		ピューージェット・サウンド大学(タコマ)	2004.7.27	
パークレー古楽音楽祭「ガンバ・フェスト 東西邂逅」	カリフォルニア大学 カル・パフォーマンス	パークレー第1組合教会(サン・フランシスコ)	1990.6.16	国際交流基金援助 共演: ニューヨーク・コンソート オブ・ヴァイオラズ
「ヨーロッパ・ツアー1991」				
Yukimi Kambe Viol Consort und Hamburg block floeten-ensembles in Norddeutschland		Vereins- u. Westbank Jugend Kulturell (ハンブルク)	1991.9.18	
		ハンブルグ コンセルパトリウム(ズールドルフ)	1991.9.19	
		St.Lorenzkirche (トラベミュンデ)、 Ev.Johanneskirche (トーステット)、 Spiegelsaal im Museum für Kunst & Gewerbe (ハンブルク)	1991.9.20 1991.9.21 1991.9.22	共演: ハンブルク・リコーダー・アンサンブル
		市庁舎(リュウネブルク)	1991.9.24	
		St.Jacobikirche (ハンブルク)	1991.9.26	
Yukimi Kambe Viol Consort		La Vieille Grille (パリ)	1991.9.30	共演: M.タレ

演奏会名	主催	場所	日付	備考
「アメリカ・ツアー2002」 国際交流基金援助				
レクチャー・コンサート「The Magical Charm of the Viola da Gamba in Historical and Contemporary Music」		MusicSources(バークレー)	2002.2.16	サン・フランシスコ日本国総領事館援助
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」		セント・アルバンス・エписコパル教会(バークレー)	〃	
レクチャー・コンサート Class for Kate Van Orden		カリフォルニア大学(バークレー)	2002.2.19	
レクチャー・コンサート「The Magical Charm of the Viola da Gamba in Historical and Contemporary Music」		ウイスコンシン大学 音楽学部(ミルウォーキー)	2002.2.22	
レクチャー・コンサート		ウイスコンシン大学 弦楽アカデミー(ミルウォーキー)	2002.2.23	
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」	アーリー・ミュージック・ナウ	ミルウォーキー公立図書館 センテナリアルホール(ミルウォーキー)	〃	
「A Musical Offering」	ラジオ KUSP-FM	サンタ・クルズ	2002.2.27	D.J.:Lロンバルディ
サンタ・クルズ パロック フェスティバル シリーズ II「Renaissance Roots * Global Flowerings」		聖十字教会(サンタ・クルズ)	2002.3.2	3.24 KUSP-FM で全曲放送
「Yukimi Kambe Viola da Gamba Consort」リサイタル・シリーズ	アーリー・ミュージック・ギルド	ベナロヤホール、ノードストームリサイタルホール(シアトル)	2002.3.2	シアトル日本国総領事館援助
「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」		在米国日本大使館広報文化センター(ワシントン D.C.)	2002.3.5	
「A Centuries-Spanning Concert」イルミネーション シリーズ	デューク大学 インスティテュート・オブ・ジ・アート	デューク大学 ネルソン ミュージックルーム(ダラム)	2002.3.7	
レクチャー Class for Brent Wissick		ノースキャロライナ大学(チャペル・ヒル)	2002.3.8	
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」	ブラスタウン・コンサート・アソシエーション	ジョン.C.キャンパベル フォークスクール、コミュニティールーム(ブラスタウン)	2002.3.10	
「アメリカ・ツアー2004」				
「Buffet delle quattro Viole da Gamba vol.2」	ブラスタウン・コンサート・アソシエーション	ジョン.C.キャンパベル フォークスクール、コミュニティールーム(ブラスタウン)	2004.3.21	
レクチャー		レンジャー小学校(マーフィー、NC)	2004.3.22	
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」		ウェスタンキャロライナ大学 リサイタル・ホール(カロウイー、NC)	〃	
日米交流 150 周年記念事業 「New Sounds from Old Instruments」Scriptum collection(日本の現代版画)とのコラボレーション		Scriptum(バークレー)	2004.3.25	在サン・フランシスコ日本国総領事館 ジャパン・インフォメーション・センター援助
「Renaissance Roots, Global Flowering」	サン・フランシスコ・アーリー・ミュージック・ソサエティ	ファーストルーテル教会(パロアルト)、第1 組合教会(バークレー)、ニュッサの聖グレゴリウス教会(サン・フランシスコ)	2004.3.26 2004.3.27 2004.3.28	
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」		ハワイ大学音楽学部 オルヴィスオーデトリウム(ホノルル)	2004.3.3	
レクチャー「Composing for Viol Consort」		ハワイ大学音楽学部	2004.4.1	
サンタ・クルズ パロック フェスティバル シリーズ「Renaissance Roots * Global Flowerings」		聖十字教会(サンタ・クルズ)	2004.4.4	共演:Lバーマン=ホール
「北米ツアー2006」 国際交流基金援助				
レクチャー・コンサート	アーリー・ミュージック・コロンバス	エヴェレット芸術教科 IMPACT 中学校 (コロンバス)	2006.3.10	
「European Roots and International Flowerings」	同上	ポンティフィカル大学ジョセフィナムジェッシング・センター (コロンバス)	〃	
「European Roots and International Flowerings」	アムハースト・アーリー・ミュージック	ケンブリッジ第一教会、会衆派(ボストン)	2006.3.12	
レクチャー・コンサート		タフツ大学現代作曲家ゼミ (ボストン)	2006.3.13	

演奏会名	主催	場所	日付	備考
レクチャー・コンサート		ロンジー音楽学校 古楽学部 (ボストン)	2006.3.14	
レクチャー・コンサート	アリゾナ・アーリー・ミュージック・ソサエティ	トゥーサン音楽アカデミー	2006.3.16	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」(現代日本版画のイラストとガンバの現代作品のコラボレーション)	同 上	ラ・ボサダ(グリーンヴァレー,アリゾナ)	2006.3.18	
「East Meets West」	同 上	セント・フィリップス・イン・ザ・ヒルズ聖公会教会 (トゥーサン)	2006.3.19	
「European Roots and International Flowerings」	聖チエチリア・コンサート・シリーズ	リリアン・パーシー・コンサートホール (ハリファックス)	2006.3.21	
レクチャー・コンサート		ル・マルシヤナー 聖トーマス小学校 (ハリファックス)	2006.3.22	
Coaching event		Margaret Holgate 邸(ハリファックス)	〃	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	トロント・アーリー・ミュージック・センター	オンタリオ美術大学 (トロント)	2006.3.23	
「European Roots and International Flowerings」		日加文化センター(トロント)	2006.3.24	
ワークショップーM.ビショップ先生の生徒たちによるコンサート	エモリー大学 シュバルツ・センター	エモリー大学 エマーソン・コンサートホール (アトランタ)	2006.3.25	
レクチャー・デモンストレーションーJ.レノン先生の作曲科クラス		同 上	〃	
「European Roots and International Flowerings」		同 上	〃	
「European Roots and International Flowerings」	イエール大学楽器博物館	イエール大学楽器博物館 (ニュー・ヘイヴン)	2006.3.26	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	同 上	ネイバーフッド音楽学校 (ニュー・ヘイヴン)	2006.3.27	
レクチャー・コンサート		ルーズベルト高校 (シアトル)	2006.3.29	
「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」	シアトル・アジア美術館	シアトル・アジア美術館 スティムソン・オーデトリウム	2006.3.30	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	カリフォルニア大学バークレー校 カル・パフォーマンス	カリフォルニア大学バークレー校 東アジア研究所	2006.3.31	
「East Meets West」	同 上	第一会衆派教会 (バークレー)	2006.4.1	
サンタ・クルズ パロック フェスティバル シリーズ 「Music in the Age of Exploration」	サンタ・クルズ パロック フェスティバル	聖十字教会(サンタ・クルズ)	2006.4.2	
作曲家のための実験室		David Dreyfuss 邸(サンタ・クルズ)	2006.4.5	Robert Strizich (composer)
レクチャー・デモンストレーションーN.トレッドウェル先生のクラス		カリフォルニア大学サンタ・クルズ校 音楽学部	〃	
Consort playing with local players		David Dreyfuss 邸(サンタ・クルズ)	〃	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	アーリー・ミュージック・ナウ	ミルウォーキー・アート・ミュージアム	2006.4.7	
レクチャー・コンサート	同 上	ウイスコンシン大学 弦楽アカデミー (ミルウォーキー)	2006.4.8	
「European Roots and International Flowerings」	同 上	シュワン・コンサート・ホール、ウイスコンシン・ルター大学(ミルウォーキー)	〃	
Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	同 上	セント・ジョンズ・オン・ザ・レイク (ミルウォーキー)	2006.4.9	
演奏会名	主催	場所	日付	備考
「環太平洋ガンバ大会」 朝日新聞文化財団助成				
現代曲セッション	日米豪ヴィオラ・ダ・ガンバ協会	ハワイ大学音楽学部(ホノルル)	2007.8.1	D.ウオーマック
「A Popularity Vote...As You Like It」	同 上	ハワイ大学 オルヴィスオーデトリウム(ホノルル)	2007.8.4	
「Buffet delle quattro Viole da Gamba」	アーリー・ミュージック・ハワイ	ケアラケア聖公会教会(ハワイ島)	2007.8.5	

—放送—

番組名	放送局名	収録場所	日付	備考
フレッシュ・コンサート	NHK-FM		1986.11.12	
クラシック・ステージ「栄光の弦楽器」	NHK-ETV	NHK ホール(東京)	1988.3.13	
報道特別番組「昭和天皇の大喪」	NTV	日本テレビ(東京)	1989.2.24	
「N 響アワー・楽器交友録」	NHK-ETV	アリマックスホテル(東京)	1999.2.20	
名曲リサイタル「古今東西音楽の旅」	NHK-FM	NHK509 スタジオ(東京)	2002.7.4	
全米プログラム “Classics in the morning”	WGBH	ボストン(MA)	2006.3.15	「高雅な猫のための組曲」放送
全カナダプログラム	CBC	カナダ	2008.1.28	J.S.バッハ 「トッカータホ短調」
題名のない音楽会 「箏の名曲はキリシタン音楽？」	TV 朝日	東京オペラ・シティ大ホール	2011.2.21 収録 5.29, 6.4, 5 放映	皆川達夫 中世音楽合奏団 野坂操壽(箏)
名曲アルバム 「インスブルックよ、さようなら」	NHK-ETV	NHK スタジオ(東京)	2011.5.8 収録 8.23, 31 放映	長谷川久恵(指) 東京少年少女合唱隊 古橋潤一(Rec.) 櫻田亨(Lute)
「うるわしバラの花」			9.11, 13, 21, 27 放映	長谷川久恵(指) 東京少年少女合唱隊 古橋潤一(Rec.) 小林英之(Organ)

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団を語る

音楽評論家からのコメント

神戸愉樹美は、日本を代表するヴィオラ・ダ・ガンバ奏者のひとりである。彼女は、単にすぐれた楽器奏者であるばかりでなく、歴史と文化への幅広い探求心を備えており、音楽の精神的な内容に、気迫をこめてアプローチするタイプの音楽家である。その神戸と、彼女の教えを受けた3人の奏者によって、神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団は結成され、すでに18年のキャリアを築いてきた。4本のヴィオラ・ダ・ガンバの奏でる親和性に富む和声の響きは美しく、そこには、西洋音楽のハーモニーを超えて、日本の伝統文化における静けさの美を感じ取ることができる。しっとりとしたイギリス音楽、華やぎのあるフランス音楽をはじめ、合奏団のレパートリーは幅広いが、コンサートでは現代日本のオリジナル曲もよく取り上げられ、その斬新な効果で、聴き手を楽しませている。この合奏団の心温まるコンサートを通じてヴィオラ・ダ・ガンバの魅力に目を開かれた聴き手は少なくない。

2001年1月15日 国立音楽大学教授 磯山雅

「神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団の魅力」

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団は、恒常的かつ活発に日本各地で演奏活動を行っている団体としては唯一の存在だといってよい。この合奏団の特徴は、ルネサンス・バロックの名曲はもとより、数多くの作曲家にオリジナル曲の作曲を委嘱することにより、ヴィオール・コンソートの可能性を積極的に広げ、そのことによって現代の様々な聴衆を獲得する努力を惜しまない点にある。

主宰者の神戸愉樹美は、ヴィオール奏者であると同時に優れたヴァイオリン奏者、音楽学者(ジャン・ルソー著『ヴィオール概論』の日本語訳がある)であり、そのことが彼女に音楽家としての視野の広さと解釈の深さを与えている。パーゼルやハーグでヨーロッパ最高の演奏家たちから学んだ高雅な伝統を、彼女は日本の土壤に移し、日本人ならではの繊細な感受性と勤勉さによって、さらに新たな魅力を付け加えたのである。

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団の演奏の特徴は、周到な準備に基づいた絶妙な音程感が生む神秘的なハーモニーと高い合奏技術、説得力のある解釈にあるが、以上のような背景を考えればそれもまた当然と思えることだろう。

2001年1月13日 明治学院大学教授 樋口隆一

現代曲ばかり9曲(+1曲)の演奏を聴いて、10年余にわたって合奏団が築いてきたユニークで大きな成果「現代音楽の創造—ヴィオラ・ダ・ガンバによる」が、誠に豊かで質の高いものであると感じた。音楽界の貴重な収穫です。おめでとうございます。伝統音楽の方もそのまま現代に活かして下さい。今後もすぐれた現代曲の委嘱と再演が続けられますようお願いいたします。演奏は鋭い緊張感あふれる表現と、のびやかな、ねむたいような表現の両極がよく表現されていて、感心しました。作品として面白かった曲は、ローブ(秋風ファンタジア)、ケルターボーン、青木孝義、ほか、いずれも面白いが、とくにケルターボーンと青木の曲には深い美しさがあった。

音楽評論家 NHK チーフディレクター 大濱純三
(現代ヴィオール・コンソート展X その2 1995.10.24 東京 三崎町教会)

作曲家からのコメント

神戸愉樹美さんが主宰するヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団は、とてもユニークな存在だ。古典をおろそかにすることもなく、けれど現代作曲家の新作を、とても柔軟に、作品の芯をとらえて演奏する。このような古楽器合奏団は、日本にはほかにない。ぼくたち作曲家は、かれらが声をかけて作曲のチャンスにあたえてくれるのを、みんなひそかに待っているのである。

林 光(作曲家)

神戸愉樹美さんのガンバコンソートはたいへん意欲的なグループです。彼らは、古典の作品のみならず現代作品にも意欲を燃やして、国の内外の作曲家に委嘱しています。その中にはスイスの作曲家ケルターボーン(元バーゼル市立音楽院院長)の難曲も含まれています。彼らの活動の範囲も、日本国内にとどまらず、1997年のアメリカ・ボストンでの「古楽フェスティバル」の一環としてのコンサートも持ち、好評でした。彼らの手がける現代曲の傾向も極めて多彩で、上記のケルターボーンの他、拙作のように、日本の雅楽に取材している作品や、廣瀬量平氏のヨーロッパ古楽のパロディーのようなシニカルな作品もあります。この団体がもっとも海外で知られ、活躍の場をひろげるといいと思っています。

増本 伎共子(作曲家)

「神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団」

「新しい葡萄酒は新しい皮袋に…」と聖書にはありますが、彼女たちは大胆にも古い皮袋にどんどん入れてしまいます。時には綻びそうになることもありますが、彼女たちは対処方法を心得ています。つまり、彼女たちは、新しい音楽にも古い音楽にも素晴らしい味わいを与えることのできる「器」を実現させたのです。

水野 勉(作曲家)

カンベユキミさんと彼女のグループの演奏活動は、ヨーロッパの古楽器に東洋のスピリットを与え、彼女が現代の作曲家に委嘱した沢山の作品は、ヴィオラ・ダ・ガンバの“現代”に新しい展望をひらいている。

三宅榛名(作曲家・ピアニスト)

ハンブルクの新聞評から

…その演奏も緻密で光彩を放つものであった。再び生命を吹き込まれたガンバ音楽、その極め付きはなんと言ってもイギリスのガンバコンソート曲であるが、この演奏会ではその至妙の技が遺憾なく発揮されていた。

…パーセルのファンタジーにおける渋いハーモニーの交替は見事であった。さらに、バッハの「フーガの技法」や「平均率クラヴィーア」第一部の冒頭の曲は、ガンバー族による手厚いもてなしを受けていたようだ。というのも、ここでは思いがけなく、あの対位法の学識が音楽的に品位ある優美さに変容していたからである。…特記すべきは、広瀬量平の「高雅な猫のための組曲」であろう。これには、猫のフーガに猫のセレナーデあり、気の利いたニャオニャオに加え、さらに魔法にかけられた猫のコンサートありで、ごきげんな舞踏パロディーである。さしずめ、E・T・A・ホフマンの雄猫ムルなら、痛快な喜びを覚えたことであろう。

<< Die Welt 紙 1991年9月20日 >>

「高雅な猫のための組曲」を日本製ガンバで

神戸愉樹美ガンバ合奏団は、それぞれの音楽との完璧な一体感を打ち出すことに成功していた。素晴らしく良く溶け合う響きの中に、個々の楽器は、織物をなすポリフォニーの線を明瞭に出し、それをきめの細かいリズムと力動感で豊かなものとしていた。

<< Hamburger Abendblatt 紙 1991年9月20日 >>

山科 高康 訳

アメリカ・ヴィオラ・ダ・ガンバ協会 大会から

ポートランドの大会でのカンベ・コンソートほど繊細で華麗な演奏を聞いたことはありません。

スタンフォード大学音楽名誉教授 ジョージ・ホール

2000年のコンサートの全ての中で、カンベ・コンソートはずばぬけて最高の評判を得ました。多くの人にとって、それは大会の中で至高のときだったのです。

芸術監督 マーサ・ビショップ

彼女たちはスタンディング・オペレーションを受けたただ1つのグループでした。「ビュッフェ・デッレ・クワットロ・ヴィオラ・ダ・ガンバ(4つのガンバのビュッフェ)」は目も耳も楽しませてくれるお祭りでした。

パークレー・ミュージックソサエティ ジョン・マーク

大会でこのコンソートはアンコールを演奏しましたが、それがもう本当に素敵でした。チャイコフスキーの『アラビア舞曲』を4つのガンバで演奏するのを聞くのは、つまりモダン楽器ではまねできない音楽を聞くことなんです。この6絃の楽器(ときには7絃)は倍音を発生させて、忘れられないような、幻想的で光り輝く音の虹を生み出すのです！ 現代の作曲家たちがヴィオラ・ダ・ガンバ・コンソートのために作曲するのは、まさにこの特質のためなのです。

ライル・ヨーク

(Buffet delle quattro Viole da Gamba 2000.7.25 Reed College Portland, Oregon)

北米ツアー2002 新聞評から

「神戸愉樹美コンソート、過去と現在をみごとに繋ぐ」

演奏者たちは実にすばらしく、率いるのはトレブルを弾く神戸愉樹美本人だった。グループは、長年つづいている弦楽四重奏団と同じ正確さと、言葉なしでのコミュニケーションをたもっていた。

フィリッパ・キレイリ

<< Seattle Post-Intelligencer 紙 (シアトル, WA) 2002年3月5日 >>

「4台のガンバが、1つの心の音で演奏した～四重奏は新しい曲も古い曲もとりあげ、そしてすべてをスイングさせた」
彼らは見事にバランスがとれた音をつくりだした。4人の女性たちは完璧な室内楽演奏者で、フレーズを始めるにも、閉じるにも、最小限の合図しか出さないし、アーティキュレーションやアクセントや音の終わり方まで、完璧にそろえていた。しかし、コンサートを本当にはばたかせたのは、彼女たちの音楽的なセンスと、魅力的なプログラムのバランスである。このプログラムの全ての曲目は、喜ばしい多様性とバランスをつくりだす総合的な役割を果たした。

エレヌ・シュミット

<< Milwaukee Journal Sentinel 紙 (ミルウォーキー, WI) 2002年2月24日 >>

北米ツアー2004

「古き良き弦」

彼女らは単に音楽の達人であるだけではなかった。プログラム前半はいかにもヴィオール合奏団の定番に加えて、古い曲の新しい解釈を含んでいた。標準的な部分に最後に、このグループはシャルパンティエの素晴らしい二短調のコンセルを選んだ。この合奏団はフランス音楽の語法[言い回し]についての本物の知識を披露した。パーセルのソナタ5番は昔ながらのパーセル風の不協和音に満ちていた。

テナー・ヴィオール奏者・小澤絵里子はルードヴィヒ・ゼンフルの「私はある朝休む」で素晴らしい太陽の場面を演じた。ディエゴ・オルティスの「当世風パッサメッツォによるリチェルカーレ[レセルカーダ]2番」は、橋爪香織によって素晴らしく演奏された。彼女らのかき鳴らし、弓使い、パーカッション的な弾き方はダンスのための生き生きとした場を演出し

た。神戸愉樹美はバッハの「オルガン小曲集」のきわめて装飾的なコラール旋律「人よ、あなたの思い宗教的罪を悔いなさい」で輝いた。彼女の旋律はオルガンにも似たヴィオール合奏団の同質の響きに支えられて、美しく流れた。野口真紀はバッハのコラール旋律「イエスよ、人の望みの喜びを」を落ち着いて素晴らしく演奏した。これは昔ながらの定番を斬新にかつ効果的に演奏するのに貢献した。

日曜日の選曲もまた新しい定番を特集した。佐藤容子の「想花」はヴィオールの能力を最大限に活用した。和音の演奏、かき鳴らし、その他いろいろなピッツィカート技法、そして変化に富んだ弓使い。これらは全て合奏団として行われた。広瀬量平の「高雅な猫のための組曲」について、神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団は笑い自由きままさについて素晴らしいセンスを見せた。アンサンブルの中でテンポを変えて、彼女たち自身がそれを楽しんでいた。このグループは昔ながらの定番について、申し分なく斬新で効果的な演奏をしている。

レベッカ・アーレント

<< San Francisco Classical Voice (サンフランシスコ、CA) 2004年3月26日 >>

北米ツアー2006

「今と昔が調和するコンサート」

演奏会はルネサンスとバロックの珠玉の作品群で幕を開けた。彼らは、一糸乱れぬアンサンブルと絶妙なイントネーションで、聴衆の意識を優しく惹きつけて止まなかった。(略)後半、猫独特の仕草・行動を鮮やかに描く広瀬量平の『高雅な猫のための組曲(1990)』では、下降グリッサンドを巧みに操りながら、「ニャーオ」という鳴き声を表現して見せた。コロンバスは、この合奏団の次回の来訪を心待ちにしている！

ジェニファー・ハンブリック

<< The Columbus Dispatch 紙 (コロンバス、OH) 2006年3月11日 >>

「神戸合奏団、自然体で思いのまま音楽を奏でる」

彼らの演奏には非の打ち所がない。暖かな余韻は花をまき散らしたようだ。それは、軽やかな空気の動きや静かな水の流れ、葉の生い茂る木立に綾なす陽の光と影の戯れを思わせるように、穏やかであるが、ゆるぎなく、一分の隙もない表現力に裏打ちされているもので、言うなれば、自然で力みがないのである。

シュテフェン・ペダーセン

<< The Chronicle Herald, CA 紙 (ハリファックス、カナダ) 2006年3月22日 >>

「東洋が西洋を解釈する」

東洋がはっきり西洋を見た。この日本の合奏団は、西洋の何世紀にもわたる伝統に対峙して、選曲、編曲、名曲に対する独特な解釈を行った。

ジョナサン・ローデス・リー

<< San Francisco Classical Voice (サンフランシスコ、CA) 2006年4月1日 >>

「のんびりした出だしを鮮やかなバロックの演奏で巻き返し！？」

神戸合奏団も、「バロック」を「退屈」と同義語とする、よくあるお上品な古楽グループの一つなのであろうか？

答えは「否！」今日彼らは選曲でも解釈でも、生き生きと、そして大胆でさえあることを証明した。

バッハのトッカータの気まぐれとも思える編曲では、原曲のケバケバしさを損なうことなく、さっと払うようなしぐさで奏者から奏者へとフレーズを継ぎ目なくすりりと渡して見せた。そればかりではない。コンセイサンでは、わざと荒っぽい音を立てて、この奇妙に楽しげな戦争を物語った。

神戸が今まで委嘱してきた現代作品では、ルネサンスやバロック時代にはなかった幅広い技術が求められる。佐藤の作品では表現主義者のジェスチャーのような気まぐれな断片で、ローブでは分厚い不協和音で強烈に示されたこの現代技法を、彼らは時に応じて使い分けて見せた。さらに広瀬のバロック舞曲のパロディでは、グリッサンドで本物の猫の鳴き声を立てて見せたのだ！

これは、騒々しい猫か？いや、バロックをからかっているのか？

どちらにしても、上品ぶっていないことだけは確かだ。

トム・ストリーニ

<< Milwaukee Journal Sentinel 紙 (ミルウォーキー、WI) 2006年4月9日 >>

CD 評

「花鳥猫風月 水野勉作品集 YKVC0302」

神戸合奏団は、ここでも水野の作品を申し分ないアンサンブル、音楽解釈、非常に優れた演奏、そして完璧に調和した響きを我々に提供している。…革新的な調和感、面白いリズム、ヴァイオルというか人の声のような音色、劇的な瞬間そして、その音色にはものすごい多様性がある。これはヴァイオルのための理解しやすい歓迎すべきコレクションである。

マーサ・ビショップ

<< VdGSA News、p.15 2003年9月 >>

「D.ローブ作品集 銅鐸反響 VMM 2029 (楽譜 PRB Production CC041)」

このアルバムは、PRB 出版によるコンソート曲集のローブの YKVC のために書かれた第二作目である。日本のファンタジア・コンソート4曲は、短いキャラクターピースである。「京都」「東北」は日本の伝統音楽、特に音階からインスパイアされている。「インドネシア」は、バリ風、ジャワ風の音階、「インド」はインドの世界観があり、インドの伝統音楽に基づいている。どの曲にも共通しているのは、ローブがガンバコンソートのためにあたらしい道を開いていることであり、ヨーロッパの古典的なコンソートの様式は借りているだけなのである。そのようにして、素晴らしく、印象深く典雅な響きの結晶である。(魅力的な音の細密画が現れた)。こうした創作がガンバコンソートに可能であるとかつて誰が想像できただろうか。神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団のこの魅力的で響き豊かな演奏解釈以外にそれを教えてくれるものはない。上級者向けではあるが、コンソート作品のレパートリーを真に豊かにするものである。

ピーエール・フンク

<< Viola da Gamba Gesellschaft Switzerland, Mitteilungen Nr.53、p.15 2004年3月 >>

「どっぷりバッハ YKVC 0503」

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団の最新の録音は、絶妙な演奏による真に real 美しい音楽の宝物である。事実 true、録音されたほとんどの音楽はオルガンとチェンバロの作品からの編曲である。しかし、このことの正統性については純粹派の人にとっても、バッハの対位法がヴァイオルに与え得る、名状しがたい抑揚 subtle inflections viols に確実に sure 感謝するだろう。注意深く準備された愉樹美のCD のプログラムノートには、1561年にポルトガルの宣教師によってヴァイオルが日本にもたらされ、1580年にオルガンが伝来するまで歌ミサの補助として使われたと説明している。オルガンの音楽をヴァイオルで演奏することはコンソートの歴史的な演奏習慣を踏襲することなのだと言樹美は感じた。そのことによって、更に演奏表現のさらなる洞察力とレパートリーの拡大をもたらしたのだ。もちろんバッハ自身が自らの作品を様々な目的に応じて書き直した re-scored したことは言うまでもない。

マーサ・ビショップ

<< VdGSA News、p.9 2005年12月 >>

演奏会プログラム案

以下は、いずれもコンソート音楽の古典曲、アレンジ曲、現代曲からなるプログラムで、曲目や楽器解説、などをお話ししながら、調弦の時間も入れて、約一時間です。編成の記載がないものは、4人編成。
なお季節、演奏会の長さや目的、お客様の年齢に合わせて、曲目の変更や演奏人数の増加も出来ます。

A:オーソドックスな、聴き応えのあるプログラム

タイトル「ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソート音楽のタベ」

- A. バンキエリ (1568-1634) ファンタジア No.21 「聞けトランペットの音を」1603
イタリアの明るい太陽を思わせるような活気に満ちた作品。私たちの幕開きテーマソングである。
- L. ゼンフル (c.1486-1542/3) 「ある朝私は」 1534
16世紀ドイツで非常に愛好されていた多声歌曲のひとつ。「ある朝私は」の旋律のカノンに挟まれ、テノール・ガンバが別れの悲しみを静かに歌っている。
- G. サルバトーレ (17c.-c.1688) カンツォン 3番 1641
イタリア・バロック初期の器楽曲。半音階や鋭い不協和音の使い方は、まさにラテン人の開放的な感情を表している。
- D. オルティス (c.1510-c.1571) レセルカーダ 2番 1553
スペイン語でレセルカーダは探すの意。バス・ガンバがパッサメッツォ・モデルノに基づいてデミヌツィオン(分割奏法)の手法による変奏をリズムカルに繰り広げる。
- H. パーセル (1659-1695) ファンタジア 5番 1680 z.739
イギリスの200年近いコンソート音楽の歴史の最後に位置する作品ではあるが、畳かける不協和音、活気のあるリズムの掛け合い、めまぐるしい転調の繰り返しなど、斬新で聴き手を惹き付けるものがある。ガンバ・コンソートといえばパーセル抜きでは語れない。
- D. コンセイサン (fl.1695) 「戦い」 1695
当時のポルトガルでは戦争が日常茶飯事。そんな中でも物語がある。まず交渉、決裂、隊列を組んで意気盛んに行進、戦闘開始のラッパが鳴る、小競り合い、戦況激しくなる、終結、辺りは普段と変らぬ田園風景に戻り、戦果を挙げて皆で喜ぶ。どうやら勝戦のようである。
- J.S. バッハ (1685-1750) 対位法 1番 フーガの技法 BWV1080 より
対位法芸術の頂点とされる事実上バッハの最後の大作から、1つのテーマに基づく単純なフーガ。楽器の指定はないが、あたかもガンバ・コンソートを念頭に置いて書かれたかのよう。
- コラール変奏曲「おお人よ、汝のの大なる罪を悲しめ」 BWV622
受難節のコラール旋律が上声部で豊かに装飾されている。本来はオルガン曲だが、私達はガンバ・コンソートでバッハ独特の和音の厚み、荘厳華麗さを表現したいと考えた。
* クリスマスには「来たれ、異邦人の救い主よ」BWV659に変更する事もできます。
- コラール変奏曲「主よ人の望みの喜びよ」 BWV147
オリジナルは、合唱と弦楽による有名な作品。3連符と3拍子であることが聖書で言う三位一体、つまり、父と子と聖霊が三者揃った完全への喜びを表現している。
- D. ローブ (b.1939) 「錦小路の物売りの声」、ファンタジア「東北」1991
ローブ氏は日本の音楽に精通している作曲家として世界に知られている。京都は錦小路、にぎやかに物を売っている様子を描写している「錦小路の物売りの声」。「東北」は東北地方のお祭りとお囃子を思い描いて書いたものである。
- 廣瀬量平 (b.1930) 「高雅な猫のための組曲」 1990
プレリュード・アレグロ / アリエッタ / スケルツォ・ミステリオーゾ / ガボット / ジーグ
1990年に当合奏団によって委嘱、初演された曲。「猫を媒介することにより、ガンバという古い楽器からの共通のイメージや笑いを誘い出し、この楽器の活気と華やきを復活させようとしたのが作曲の意図である」とは作曲者の言葉。

B：古楽クロスオーバーで、聴き易いプログラム

タイトル “Buffet delle Quattro Viole da Gamba”

Menu

高橋伸哉(b.1962)

「三つのベンチで」より 1997
遊歩道で 池のほとりで

「どこにでもある小さな公園、ベンチに座っていると園内の様々な光景に出会う…。」優しさや爽やかさを透明感に満ちたガンバの音色を通して表現した作品。

H.パーセル(1659-1695)

ファンタジア 8 番 Z735 1680

イギリスの 200 年近いコンソート音楽の歴史の最後に位置する作品ではあるが、畳かける不協和音、活気のあるリズムの掛け合い、めまぐるしい転調の繰り返しなど、斬新で聴き手を惹き付けるものがある。ガンバ・コンソートといえばパーセル抜きでは語れない。

L.ゼンフル(c.1486-1542/3)

「ある朝私は」 1534 A プロに同じ

G.サルバトーレ(17c.-c.1688)

カンツオン 2 番 1641 A プロに同じ

D.コンセイサン(fl.1695)

「戦い」1695 arr.by YKVC A プロに同じ

J.S.バッハ(1685-1750)

プレリュード 1 番 ハ長調 BWV870
平均律クラヴィア曲集 2 巻より

本来 1 人で演奏するべきものを、ハンドベルからヒントを得て、4 人の奏者のアンサンブルで新しい効果をねらってみた。

対位法 1 番 フーガの技法 BWV1080 より 1740 年代
シンフォニア 12 番 BWV798

この作品もクラヴィアのために書かれたものだが、本来の 3 つの声部をそれぞれ別の奏者に割り当て、さらに通奏低音の効果を加えることで、この曲の性格がより明確になった。

佐藤容子(b.1971)

「想花」1999
響き合って / 雨のように / たわむれて / 風のように

「ひとつひとつの小曲が、花びら一枚一枚のように重なり合ってイメージを形成したい…」(作曲家)

D.ローブ(b.1939)

「インドネシア」「インド」1993

ローブ氏は日本の音楽に精通している作曲家として世界に知られている。「インドネシア」はバリ島のガムランの冷静な感じ、「インド」は古典的な即興風に書かれている。

P.レーンフーツ(b.1957)

Report upon “When shall the Sun Shine?”1981 arr.by YKVC

スティーヴィー・ワンダーの You are the sunshine of my life の旋律を基にジャズ風にアレンジした楽しい曲。

* 仕入れの都合により Menu の変更もございます

C : 現代名曲選 次世代への贈り物

タイトル “A New Accessible Viol Sound”

- 佐藤容子 (b.1971) 「想花」1999
響き合って / 雨のように / たわむれて / 風のように
- D.ローブ (b.1939) 「インドネシア」「インド」1993
「錦小路の物売りの声」、ファンタジア「東北」1991
- 水野 勉 (b.1949) 「春の猫」1990
猫の目 / 歌 / 情景
「はなの傷 たて一文字 春の猫」なる、義母の遺稿に寄せた曲。猫ののんびりした様子や、彼方への凝視、突然の動き、そこはかたなく懐かしい感興などを、不協和な音や変転の激しい速度法、旋法的な音調、猫の鳴き声を模したポルタメントの多用などで表している。(作曲者)
- 高橋伸哉 (b.1962) 「Emotion(エモーション)」2002
ブルー・ノートの多用、アップ・テンポによる変拍子(4分の5拍子)の使用など、ジャズのテイストも取り入れた明るく軽快な曲想により、人間の喜怒哀楽、特に「喜」と「楽」を主体とした Emotional な気分を、自由な発想で表現した。(作曲者)
- R.ケルターボーン (b.1931) 「震撼」1992
この作品は7つの部分がつながって出来ており拍節のある部分と非拍節の部分とがある。作曲者によれば、表題「震撼」とは「微細なものまでも含む振動の記録、つまり、魂の衝撃や深い感動の記録を意味している」
- F.ムサスソー (b.1950) 「日没」1990
カラッとかわいた空気、どこまでも続くサバンナを思わせる明るさ、時計では計れないような時間の流れ。草原の太陽はゆっくりゆっくり沈んで行くのでしょうか。そして最後はストーンと日が暮れました。
- 増本 伎共子 (b.1937) 「宮廷のさざめき」1994
衣ずれの音、宮廷の雅、雅楽の響きを巧みにとりいれた、4声のガンバ・コンソートのための作品。
- 廣瀬量平 (b.1930) 「高雅な猫のための組曲」1990
プレリュード-アレグロ / アリエッタ /
スケルツォ・ミステリオーズ / ガボット / ジーグ

* このプログラムは、日本の現代版画とのコラボレーションで演奏されたものです。

D：お好みの曲を軸に構成した、オーダーメイド・プログラム(下記のリストよりお選びください)

≪4人編成≫

* バロックまで

日本の古楽-水野勉編 (7c.)	越天楽
G.マシヨー (c. 1300-1377)	ノートルダムミサ曲より「キリエ」
J.デ・プレ (1440C-1521)	アヴェ マリア
H.イザーク (c.1450-1517)	「愛をつかんだ」「ラ ラ ヘー ヘー」
L.ゼンフル (c.1486-1542/3)	「ある朝私は」 (CD “Buffet” 収録)
D.オルティス (c.1510-71)	レセルカーダ第2番
H.カベソン (1541-1602)	「甘き思い出」
G.ダラ・カーサ (c.1543-1601)	「梨の木は不動なり」 (CD “Buffet” 収録)
G.ガブリエリ (c.1553-c.1612)	カンツォン (CD “Buffet” 収録)
A.バンキエリ (1568-1634)	ファンタジア「聞けトランペットの音を」
O.ギボンズ (1583-1625)	イン・ノミネ
J.ジェンキンス (1592-1678)	パヴァーヌ、ファンタジア
G.サルバトーレ (early17c-1688)	カンツォン
M.A.シャルパンティエ (1634-1704)	組曲 二短調 H.545
H.パーセル (1659-1695)	ファンタジア (CD “Buffet” 収録)
D.コンセイサン (fl.1695)	第5 旋法による「戦い」 (CD “Buffet” 収録)

* J.S.バッハ(1685-1750) (CD “どっぶりバッハ” 収録)

平均律クラヴィア曲集第1巻 プレリュード第1番 BWV846
フーガの技法より 対位法第1番 BWV1080
フーガの技法より 対位法第4番 BWV1080
フーガの技法より 対位法第9番 BWV 1080
シンフォニア 第9番 BWV795
シンフォニア 第12番 BWV798
アリア イ短調(原調 ハ短調) BWV 590
トッカータ ホ短調 BWV 914
「おお人よ、汝の大いなる罪に嘆け」 BWV622
「いざ来ませ 異邦人の救い主よ」 BWV 659
「主よ人の望みの喜びよ」 BWV147
「甘き喜びに包まれ」 BWV608

* 現代日本の作曲家

廣瀬量平 (b.1930)	「高雅な猫のための組曲」 (CD “Buffet” 収録)
有馬礼子 (b.1933)	「琉球風絃歌」
一柳 慧 (b.1933)	「Space Line」
増本 伎共子 (b.1937)	「宮廷のさざめき」 (CD “いろいろ さまざま ところどころ” 収録)
水野 勉 (b.1949)	コラール「五月の赤い靴」「キャトルツ」 (CD “花鳥猫風月” 収録)
高橋伸哉 (b.1962)	「三つのベンチで」より 遊歩道で/池のほとりで
佐藤容子 (b.1971)	「想花」 (CD “Buffet” 収録)

* 外国人作曲家のいろいろ

P.チャイコフスキー (1840-1893)	くるみ割り人形より「アラビアの踊り」
C.ジョビン (1927-1994)	「イパネマの娘」
R.ケルターボーン (b.1931)	震撼 I VI III
D.ローブ (b.1939)	ファンタジア「インドネシア」「インド」 (CD “銅鐸反響” 収録)
M.ビショップ (fl.2006)	「ドルメッシュ」による変奏曲-クアアチアン・ダンス-
F.ムサソウ (b.1950)	日没
P.レーンフーツ (b.1957)	「陽はいつ輝くの？」

《歌、または語り+ヴィオラ・ダ・ガンバ4人編成》

W.バード (1543-1623)	「汝、聖なるミューズよ」 Sop.
水野 勉 (b.1949)	「ことばあそびうた」より Sop.
	「ののはな」「さるさらう」「うそつき」「いるか」「たそがれ」 (CD“花鳥猫風月”収録)
水野 勉 (b.1949)	「狐の恩返し」 Sop.または Ten.
水野 勉 (b.1949)	「長靴をはいた猫」 Br.

《5人編成》

Ch.タイ (c1505-c1572)	イン・ノミネ「呼び売りの声」
A.ホルボーン (c1545-1602)	パヴァーヌ、アルメイン「すいかずら」 (CD“Buffet”収録)
G.ガブリエリ (c.1553-c.1612)	カンツォン
G.ガストルディ (c1555-1622)	「愛の勝利」
C.ジェズアルド (1560-1613)	「我がいとしき命の人よ」
J.ダウランド (1562-1626)	涙のパヴァーヌ
O.ギボンズ (1583-1625)	イン・ノミネ (CD“Buffet”収録)
S.シャイト (1587-1654)	「隣国の騎士ローランドの歌」
J.ジェンキンス (1592-1678)	パヴァーヌ
H.パーセル (1659-1695)	1音上のファンタジア

《6人編成》

G.ガストルディ (c1555-1622)	マドリガル「澄んだ水晶のささやき」
J.ジェンキンス (1592-1678)	パヴァーヌ
H.パーセル (1659-1695)	イン・ノミネ
J.S.バッハ (1685-1750)	リチェルカーレ BWV1079 (CD“どっぷりバッハ”収録)

* 歌・語り、および5、6人編成は日本国内のみ

レクチャー・コンサート(内容、演奏曲目は、レクチャーの対象、ご希望のテーマに応じて決めることができます。)

* 作曲家、及び作曲専攻の学生対象：レクチャー・コンサート「ガンバ・コンソートの作曲法」

- I ヴィオラ・ダ・ガンバの紹介 / II 多声音楽の発展
III デモンストレーション演奏 (ゼンフル ジェンキンス パーセル 佐藤容子 ケルターボーン 廣瀬量平 など)

* ヴィジュアルアートとのコラボレーション：「古楽器が奏でる新しい響き」

現代名曲選

* 子供のための短めのプログラム

バッハ バンキエリ ホルボーン サルヴァトーレ パーセル 廣瀬量平 など アンコール:「星に願いを」

* 親と子のお話と演奏

ルネッサンス時代の音楽 / バロック時代の音楽 / 現代名曲選

プレス用写真

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団



左から、野口 真紀、小澤絵里子、神戸愉樹美、橋爪 香織

初演曲リスト

作曲者	曲名	声部	演奏会名	場所	日時
青木 孝義	「真夏の夜のパッサカリア」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 X」 その2	東京	1995.10.24
有馬 礼子	「四弦翠楽」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XVIII」	〃	2003.11.20
	「琉球風絃歌」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XX」	〃	2005.11.22
	「琉球風絃歌」(アメリカ初演)	4 声	「Music in the Age of Exploration」	サンタ・クルズ	2006.4.2
	板本 勝百	「都恋しも」 —三尾が崎といふ所に綱引くを見て—	5 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 III」	東京
一柳 慧	Space Line	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XX」	〃	2005.11.22
	Space Line(アメリカ初演)	4 声	Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	アリゾナ	2006.03.18
木村 充子	「陽炎」—かげろう—For Viol Consort	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 X」 その2	東京	2001.11.22
樽谷 学	「オルガナム—泉を望む鹿のように—」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XII」	〃	1997.11.18
小内 将人	「行間(ゆくやみ)」 第 1 位入賞作品	6 声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第 2 回作品募集本選会」	〃	1986.12.7
小山 和彦	「牧歌」—ヴィオラ・ダ・ガンバ五重奏のための—	5 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XIV」	〃	1999.10.29
権代 敦彦	「孕み (HARAMI)」 Op.129	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XXV」	〃	2011.11.27
佐藤 稔	クロード・ル・ジュヌのシャンソンによる二つの小品	5 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XXIII」	〃	2008.12.9
佐藤 容子	「想花(サンファー)」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XIV」	〃	1999.10.29
	「想花(サンファー)」(アメリカ初演)	4 声	アメリカ ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催 Conclave 2000 「Viol Music From Japan」	ポートランド	2000.7.25
	「木の記憶」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XVI」	東京	2001.11.22
	「Ocean Songs」 for the Yukimi Kambe Viol Consort	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XVI」	〃	2003.11.20
	沢田 穰治	「二十時十分の月」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XIV」	〃
高橋 伸哉	ヴィオラ・コンソートのための小組曲 「3 つのベンチで」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XII」	〃	1997.11.18
	「水の王宮」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XIII」	〃	1998.12.11
	ヴィオラ・コンソートのための小組曲 「3 つのベンチで」(アメリカ初演)	4 声	アメリカ ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催 Conclave 2004 「Viol Music From Japan」	ポートランド	2000.7.25
	「Jasmine」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XV」	東京	2000.10.21
	「花扇」—胡弓と 4 声のガンバコンソートの ために—	胡弓+4 声	ロバハウスライブ 「糸のメルヘン」	〃	2002.6.30
	「Emotion」for Viol Consort	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XVII」	〃	2002.11.28
	「春の宴」	和太鼓 + 4 声	吉田家・川添家 結婚披露演奏会	〃	2004.2.29
	「Emotion」 for Viol Consort (アメリカ初演)	4 声	「Buffet delle quattro Viole da Gamba II」	プラスタウン	2004.3.21
	ダンシング・ガンバ	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XXI」	東京	2006.11.26
	田中えりか	「青い天使」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XII」	〃
田中 圭	「nostalgia」	5 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XI」	〃	1996.11.29
田中 賢	「祈り」—ヴィオラ・ダ・ガンバのために—	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XVI」	〃	2001.11.22
坪能 克裕	「もうひとつの行進」—4 人のヴィオラ・ダ・ ガンバ奏者のための—	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XV」	〃	2000.10.21
内藤 正彦	「nox —夜—」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XIII」	〃	1998.12.11
永井恵美子	「オマージュ」	2 声	フェリス女学院大学音楽学部 第 2 回卒業記念演奏会	横浜	1994.3.17
中川 俊郎	ウトレ ファ シ ミ ソル ラによるカンツォン	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 XXII」	東京	2007.12.8
なかこしかかね 中村 洋子	「エコーとナルシス」	Sop+4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 X」 その1	〃	1995.5.19
	「コレー」	4 声	「現代ヴィオラ・コンソート展」	〃	1985.6.16
	「プレリュード」	5 声	「現代ヴィオラ・コンソート展 II」	〃	1986.6.27

中村 洋子	「扇」—5人のガンバ奏者の為の—	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展Ⅲ」	〃	1987.10.29
	「みじか夜」—4人のガンバ奏者のための—	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XXI」	〃	2006.11.26
西村 朗	「瑠璃光の庭」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XX」	〃	2005.11.22
林 光	「塔と河の音楽」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展X」 その2	〃	1995.10.24
	「河は百の塔の影をうかべる」(改作初演)	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XI」	〃	1996.11.29
廣瀬 量平	「イディール」4台のガンバの為に編曲	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展」	〃	1985.6.16
	「高雅な猫のための組曲」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展V」	〃	1990.5.22
	「高雅な猫のための組曲」(アメリカ初演)	4声	パークレー古楽音楽祭 「ガンバ・フェスタ 東西邂逅」	パークレー	1990.6.16
	「珊瑚の島」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展VIII」	東京	1993.12.9
	「南島詩曲」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XI」	〃	1996.11.29
	「シレウトック組曲」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XX」	〃	2005.11.22
	「シレウトック組曲」(アメリカ初演)	4声	Scriptum 「New Sounds from Old Instruments」	アリゾナ	2006.3.18
本間 貞史	「ヴィオラの為の4重奏曲」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展II」	東京	1986.6.27
	「ラメント」	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展III」	〃	1987.10.29
	「蓮の露」	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展XIII」	〃	1998.12.11
増田 明子	「Suite for Viole」	4声	フェリス女学院大学音楽学部 第2回卒業記念演奏会	横浜	1994.3.17
増本伎共子	「宮廷のさざめき」	4声	新しい世代の芸術祭'94 「現代ヴィオラ・コンソート展IX」	東京	1994.10.4
	「宮廷のさざめき」(アメリカ初演)	4声	ボストン古楽音楽祭「Four-part Consort Music from Japan」	ボストン	1997.6.13
	朗詠II—ヴィオラ・ダ・ガンバと笙のための—	笙+4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XXI」	東京	2006.11.26
松永 通温 水野 勉	Pattern Construction	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展XXII」	〃	2007.12.8
	「ヴィオラ・ダ・ガンバの為の六重奏曲」	6声	麒麟主催「第8回作品展」	〃	1984.5.29
	「小組曲」第1位入賞作品	4声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第1回作品展募集本選会」	〃	1984.12.16
	「小組曲」(アメリカ初演)	4声	アメリカ ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催 Conclave 「Consort Music」	ロス・アン ジェルズ	1988.8.1
	「Spanish Dance」	3声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「コンソートのタベ」	東京	1985.11.24
	「Cat trot」	6声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「コンソートのタベ」	〃	1985.11.24
	「花開き鳥歌う」 阪田寛夫 詩	語り+5声	レクチャーコンサート 「現代復興ルネッサンス ヴィオラ・ダ・ガンバ、詞と音楽の交差点」	〃	1986.3.18～ 19
	「残照」 新川和江 詩	語り+4声	レクチャーコンサート 「現代復興ルネッサンス ヴィオラ・ダ・ガンバ、詞と音楽の交差点」	〃	1986.3.18～ 19
	「Ne-comet !」	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展II」	〃	1986.6.27
	「さまざまな時間(とき)」	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展III」	〃	1987.10.29
	「絵姿女房」 木下順二 作	5声	言葉の散歩道の会主催 「語り言葉コンサート」	〃	1988.11.25
	「春の猫」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展V」	〃	1990.5.22
	「春の猫」(アメリカ初演)	4声	パークレー古楽音楽祭 「ガンバ・フェスタ 東西邂逅」	パークレー	1990.6.16
	「密やかな歌」	4声	「現代ヴィオラ・コンソート展VIII」	東京	1993.12.9
	「ののはな」「さるさらう」 谷川俊太郎 詩	Sop+4声	Harmony 'NARA' CONCERT Vol.7	奈良	1994.2.18
	「風のたより」「月夜のできごと」	5声	かけはしの会主催「神戸榎樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団コンサート」	東京	1994.11.1
	「いるか」「うそつききつき」 「たそがれ」 谷川俊太郎 詩	Sop+4声	「現代ヴィオラ・コンソート展X」 その1	〃	1995.5.19
「五つの空想」	5声	「現代ヴィオラ・コンソート展X」 その2	〃	1995.10.24	
「狐の恩返し」	声+4声	ハーモニー“寧楽”主催「心の歌声」	奈良	1995.11.19	
「リュートとガンバのためのバラード」	Lute+3声	「現代ヴィオラ・コンソート展XI」	東京	1996.11.29	

水野 勉	「星祭りの夜」 平成 10 年度神奈川委嘱助成作品	4 声	「コンサート音楽のタベ」	〃	1998.12.6
	「長靴をはいた猫」	声+4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XIV」	〃	1999.10.29
	「風紋」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVI」	〃	2001.11.22
	「花束」 詩:J.ブレバール	語り+4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVI」	〃	2001.11.22
	「椎間板軟骨悲歌(ギックリゴシエレー)」 「エアポケットにおちた天使」 「猫の天使、第3 日曜日」 詩:やなせたかし	語り+4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVI」	〃	2001.11.22
	「五月の赤い靴」「キャトルツ」 (アメリカ初演)	4 声	「Buffet delle quattro Viole da Gamba」	パークレー	2002.2.16
	「緑の糸」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVII」	東京	2002.11.28
	「花さく枝」	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 VIII」	〃	2003.11.20
	「第二組曲」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XX」	〃	2005.11.22
安田美充央	「THE EDGE OF HIGAN」 「Death Sentiment #4」	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVIII」	〃	2003.11.20
柳澤 哲哉	「Super Strings I」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XI」	〃	1996.11.29
	「Triste 1」	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XIII」	〃	1998.12.11
M. Bishop	「Variations on "Drames" A Croatian Dance」(本邦初演)	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XV」	〃	2000.10.21
J. Eifenbein	「The "Spoonful" Variations」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XIX」	〃	2004.11.26
S. Everett	「SideStep」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XIX」	〃	2004.11.26
	「SideStep」(アメリカ初演)	4 声	「European Roots and International Flowerings」	アトランタ	2006.3.25
M. Hamill	「Fantasia "The Triumph of Death" (本邦初演)	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XV」	東京	2000.10.21
M. Kagel	「ルネッサンス楽器の為の音楽 1969」 (本邦初演)	4 声	レクチャーコンサート 「現代復興ルネッサンス ヴィオラ・ダ・ガンバ・ファンタジーの世界」	〃	1984.10.8～9
A. Keeling	「afterwords」(本邦初演)	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVII」	〃	2002.11.28
	「Gefunden」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XVIII」	〃	2003.11.20
R. Kelterborn	「Seismogramme (震憾)」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 VII」	〃	1992.11.24
	「Seismogramme (震憾)」	4 声	「New Sounds from Old Instruments」 日本国総領事館助成 日米交流 150 周年記念事業	パークレー	2004.3.25
J.A. Lennon	「As She Sings」	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XIX」	東京	2004.11.26
	「As She Sings」(アメリカ初演)	4 声	「European Roots and International Flowerings」	アトランタ	2006.3.25
D. Loeb	「Concertante Fantasias for four Viols」4 台のバス・ガンバ	4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展」	東京	1985.6.16
	「Fantasias for the Japanese Consort 1985」	3 声-6 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 II」	〃	1986.6.27
	「Passacaglia」 第 2 位入賞作品	6 声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第 2 回作品募集本選会」	〃	1986.12.7
	「祭り鐘」	5 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 III」	〃	1987.10.29
	「The cries of Kyoto(錦小路の物売りの声)」	4 声	「NOBUNAGA IN PERIOD」 中世・古楽器の音色を楽しむ	〃	1992.10.21
	ファンタジア「東北」	Perc+ 3 声	「NOBUNAGA IN PERIOD」 中世・古楽器の音色を楽しむ	〃	1992.10.21
	マドリガル集「アジアの国めぐり」第 1 巻より 「中国」「インドネシア」「インド」「中近東」	4 声	新しい世代の芸術祭94 「現代ヴィオラ・コンサート展 IX」	〃	1994.10.4
	「臥雲橋」- 笙とガンバ・コンサートのために-	笙+4 声	大倉山水曜コンサート 「東と西の宮廷楽器の饗宴」	横浜	2003.1.29
	「白川郷の黄昏」	篠笛+4 声	アメリカ ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催 Conclave 2004「Musica Transpacifica」	シアトル	2004.7.26
	ファンタジア「竹富」「唐崎夜雨」「手事」 「王子の狐」	4 声 4 声	「現代ヴィオラ・コンサート展 XX」 猫とその仲間たち	東京 〃	2005.11.22 2008.6.11

D. Loeb	「鷹ヶ峯」	シター+4声	「現代ヴィオール・コンソート展 XXIII」	〃	2008.12.9
M. Regan	「Blue to Infinity」	4声	「Buffet delle quattro Viole da Gamba」 Music Department at University of Hawaii	ハワイ	2004.3.30
P. Seibert	「Fantasia Pacifica, 2001」	4声	「Yukimi Kambe Viola da Gamba Consort」リサイタル・シリーズ シアトル日本国総領事館援助	シアトル	2002.3.2
	「Shades of Blue」	4声	「現代ヴィオール・コンソート展 XIX」	東京	2004.11.26
	「Shades of Blue」(アメリカ初演)	4声	「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」	シアトル	2006.3.30
M. Tallet	「Canon」 第2位入賞作品	3声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第1回作品募集本選会」	東京	1984.12.16
	「Pieces a enchaîner」	4声	「現代ヴィオール・コンソート展」	〃	1985.6.16
	「Trois Hommes de Qualit」 第2位入賞作品	6声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第2回作品募集本選会」	〃	1986.12.7
	「Les convulsions du serpent」	4声	La Vieille Grille	パリ	1991.9.30
A. Trubitt	「Fantasia」 第2位入賞作品	4声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第1回作品募集本選会」	東京	1984.12.16
Th. Whitman	「In Nomine, Galliard and Pavan」 第2位入賞作品	4声	日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会主催「第2回作品募集本選会」	〃	1986.12.7
D.R. Womack	「The Nature of Things」 ~Water~	4声	「現代ヴィオール・コンソート展 XIX」	〃	2004.11.26
	「The Nature of Things」 ~Water~ (アメリカ初演)	4声	環太平洋ガンバ大会	ハワイ	2007.8.1
	「O Magnum Mysterium」	4声	「現代ヴィオール・コンソート展 XXII」	〃	2007.12.8

CDs



デザイン 石下裕子

Buffet delle Quattro Viole da Gamba YKVC0201 税込 2415 円

「4本のヴィオラ・ダ・ガンバのビュッフェ」とは、格調高いディナーではなく、気軽な立食、つまりビュッフェなのです。私たちの大好きなレパートリーから、ヴィオラ・ダ・ガンバのコンソート特有の響きが生かされている、古典曲と現代曲の典型的な例を入れてみました。新しいガンバの可能性や、お気に召す曲が見つかるにちがいありません。これが、今の私たちの最も面白い音だ、音楽だという記録なのです。待望の「高雅な猫のための組曲」も収録！

演奏：神戸愉樹美 小澤絵里子 野口真紀 橋爪香織 櫻井茂
 曲目：ホルボーン、パーセル、ギボンズ、J. S. バッハ、佐藤容子、水野勉、廣瀬量平の作品他



デザイン 石下裕子

花鳥猫風月 Foglia d'olivo, 水野勉作品集 YKVC0302 税込 2625 円

現代作曲家 水野勉 ただ一人による世界初のガンバ作品集。
 花鳥風月に猫！？ この多彩な響きとしなやかな感性にあなたは驚き、そして惹かれるにちがいありません。

演奏：神戸愉樹美 小澤絵里子 野口真紀 橋爪香織 櫻井茂
 花形恵子（朗読） 松堂久美恵（歌）
 曲目：キャトルツ、河童、月夜のできごと、ことばあそびうた、小組曲 他



デザイン 石下裕子

どっぷりバッハ Ja, doch BACH YKVC0503 税込 2625 円

バッハの作品ばかりの一枚。ガンバ・コンソートの技と可能性を追求しながら、バッハの魅力に迫る。

～ なんと玄妙な響きだろう。何本もの弦がやわらかく芳醇な響きを奏で、その渦の中からあたかも高い天を目指すかのように、新しい響きが立ちのぼってくる ～ 礒山 雅

演奏：神戸愉樹美 小澤絵里子 野口真紀 坪田一子 橋爪香織 櫻井茂
 曲目：トッカータ BWV914、フーガの技法、プレリュード BWV846、おお人よ、汝の大きいなる罪に嘆け他

Echoes from Bronze Bells (銅鑼反響) VMM2029 税込 2625 円

D. ロープ作品集。「錦小路の物売りの声」、ファンタジア「東北」、「日本風カンゾナ」、ファンタジア「インドネシア」「インド」、尺八とバス・ガンバによる「銅鑼反響」、他5曲を収録。
 演奏：神戸愉樹美 小澤絵里子 坪田一子 野口真紀 橋爪香織

Imagined Landscapes (隠藏風景) VMM2033 税込 2625 円

D. ロープ作品集。弦楽器ソロ曲集。神戸愉樹美が古楽から現代曲へ目を向けるきっかけとなった名曲「地歌」を含む「歌組」、他5曲を収録。

Yearning for Autumn (慕秋) VMM2035 税込 2625 円

D. ロープ作品集。邦楽を基にした室内楽のコレクション。5、6声のコンソート組曲「日本の鐘」より「秋風ファンタジア」、ファンタジア「津軽」、笙とバス・ガンバによる龕夜（がんや）、他4曲を収録。

Music of the Autumn Winds (秋風の曲) VMM2037 税込 2625 円

D. ロープ作品集。40年間のアジアでの様々な経験が生み出す、ソロ曲および室内楽。笙の宮田まゆみ氏共演の「臥雲橋」他6曲を収録。

The Silent Waterfall (静寂の滝) VMM2048 税込 2625 円

D. ロープ作品集。洋楽器やアジアの楽器で演奏されるソロ曲と室内楽。尺八4本とガンバ4台による「海と雲の出会い」他6曲収録。

いろいろ きまぎま ところどころ 増本伎共子の世界 FOCD2550 税込 2625 円

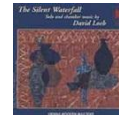
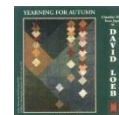
衣ずれの音、宮廷の雅、雅楽の響きを巧みにとり入れた、4声のガンバ・コンソートのための「宮廷のさざめき」(1995年第10回現代ヴィオラ・コンソート展よりライブ録音)、他4曲を収録。

ハインリッヒ・シュッツの音楽 Vol.2 SDG/MP-003 税込 2,625 円

淡野弓子指揮、ハインリッヒ・シュッツ合唱団・東京との共演。
 「音楽による葬送」「イエス・キリスト 十字架上の七つの言葉」を収録。

箏曲『六段』とグレゴリオ聖歌『クレド』 VZCG743 税込 3,150 円

～日本伝統音楽とキリシタン音楽との出会い～ 皆川達夫指揮、中世音楽合唱団との共演。
 「千々の悲しみ」、グレゴリオ聖歌「クレド」と「六段」など、全11曲収録。



楽譜 YKVCМ (Yukimi Kambe Viol Consort Music) シリーズ 「皆に弾いて欲しいから……」
 神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団 楽譜シリーズ は、当等合奏団が演奏会で多くの聴衆の賛意を得た作品を、広く演奏していただきたいと出版するものです。総譜とパート譜 日本語と英語の解説付き(リコーダーの解説は吉沢実氏による)

水野 勉 CD「花鳥猫風月」YKVC 0302 に収録

YKVCМ1 「花鳥風月」 花開き鳥歌う／風のたより／月夜のできごと 1,890 円 (税込価格)

Tr. Tr. Tn. Tn./Bs. Bs. 5本のガンバのために～または、リコーダー、弦楽器、木管・金管楽器

YKVCМ2 「キャトルツ」 キャトルツ／5月の赤い靴 1,680 円

Tr. Tn./Tr. Tn./Bs. Bs. 4本のガンバのために～または、リコーダー、弦楽器、木管・金管楽器

YKVCМ3 「陽気なガンバ弾き」 陽気なガンバ弾き -のるかそるか-／追憶 1,680 円

Tr. Tn./Tr. Tn./Bs. Bs. 4本のガンバのために～または、リコーダー、弦楽器、木管・金管楽器

YKVCМ4 「5曲のスパニッシュ・ダンス」 5曲のスパニッシュ・ダンス 2,100 円

Tr. Tn. Bs. 3本のガンバのために～または、リコーダー、弦楽器、木管・金管楽器

YKVCМ5 谷川俊太郎の詩による「ことばあそびうた」より ののはな／さるさらう／いるか／うそつきつき／たそがれ
 voice (Soprano) and Tr. Tn./Tr. Tn./Bs. Bs. (歌詞の英訳付き)

声楽(ソプラノ)と4本のガンバのために～または、声楽とリコーダー、弦楽器、木管・金管楽器 2,520 円

YKVCМ6 「小組曲」 1984 年、「第1回作品募集本選会」で第1位となった作品 1,890 円

Tr. Tr. Tn. Bs. 4本のガンバのために～または、リコーダー

YKVCМ7 「春の猫」 Tr. Tn. Bs. Bs. 4本のガンバのために～または、リコーダー 1,785 円

YKVCМ8 「河童」 詩: 阪田寛夫 語りと Bs. 1,575 円

廣瀬量平 CD「Buffet delle Quattro Viole da Gamba」 YKVC 0201 に収録

YKVCМ9 「高雅な猫のための組曲」 Tr. Tn. Bs. Bs. 4台のガンバのために 3,150 円

書籍

J.ルソー ヴィオール概論 関根敏子・神戸愉樹美 共訳 4,200 円

ヴィオラ・ダ・ガンバのための四大重要文献の一つ。17 世紀フランス、ヴェルサイユ宮殿での音楽を知る上でこの上なく貴重な資料。

起源論、構え方、奏法、装飾法、運弓法と移調について書かれた、1687 年パリ出版の原書の全訳に、当時の音楽の解説を付録に掲載。

ガンバ教本 第 I 巻 1,050 円

原本 August Wenzinger 著 Gambenuebung I のドイツ語部分の翻訳と文献資料を付録に。原本にある譜例は掲載していないので、原書と併用のこと。

ヴィオラ・ダ・ガンバ 作曲家のための「手引書」 1,050 円

ガンバのために作曲をする際に必要な楽器の可能性について記述。英語訳もある。

ヴィオラ・ダ・ガンバ教本 ～ガンバ・コンソートのための教本～ 第 II 巻: 高度な技術の習得 1,890 円

神戸愉樹美訳。

原本 August Wenzinger 著 Gambenuebung II の完全翻訳本。訳者付録に「練習のポイント」他。

取
扱
い
店

アントレ編集部 (CDのみ) 〒206-0803 東京都稲城市向陽台5-10-6-308 Fax.042-378-7603

Fax.042-378-7603 h-shina@ja2.so-net.ne.jp 品川様

ギターラ社東京古典楽器センター 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-49

TEL.03-3952-5515 営業時間 10:30-19:00(月曜休) Fax.03-3952-5516 http://www.guitarra.co.jp

アカデミア・ミュージック(株) 〒133-0033 東京都文京区本郷1-28-21

TEL.03-3813-6751 営業時間 10:10-19:00(日・祝休) Fax.03-3818-4634 http://www.academia-music.com/

ヴィオラ・ダ・ガンバとは？

ヴィオラ・ダ・ガンバの名称の由来、サイズ、構え方、形

ヴァイオリン(英)、ヴィオール(仏)とも呼ばれる脚に構える弓奏擦弦楽器です。ガンバとはイタリア語で「脚」を意味します。(サッカーのチームにもありますね、あちらは「脚」と「がんばる」をかけたようですが。)ヴァイオリンのファミリーはヴィオラ・ダ・ブラッチョ(腕のヴィオール)属です。チェロはブラッチョ属ですが、大きすぎて肩にのせられないでしょう。楽器の大きさは出せる音の高さに対応していますが、小型のトレブル・ガンバ(高音部)、中型のテノール・ガンバ(中音部)、大型のバス・ガンバ(低音部)の3種のサイズが最もよく使われていて、人の声に対応しています。楽器の大小に関わらず膝または脚に挟んで構え、弓はお箸やスプーンのようにアンダーハンドに持って演奏します。

外見は、ヴァイオリン属と比べて、弓で弦を擦った時に胴体に触れないように胴の中ほどがC字型にくびれているのは同じなのですが、肩はいかり肩ではなくで肩で、厚みがあります。裏板は平らで、響孔は原則的にはC字です。ネックにガット弦で7つのフレットを半音間隔に結びつけます。弦の数は通常6本で、フランスでは7本が好まれました。

ガンバの歴史

イタリアの15世紀末頃に、今日に通ずる形の楽器が登場しました。ルネサンス、バロック時代にはもともと普及した楽器の一つとなり、王侯貴族のたしなみとして、また教会などで18世紀中ごろまで盛んに演奏されました。ルネサンス時代の同種の楽器だけの合奏、ガンバ・コンソートは、一体感のある響きが特徴です。一方、混合した響きを楽しむ、リコーダーやリュートなど色々な種類の楽器との合奏にもガンバは加わっていました。バロック様式では独奏楽器としてはもちろん、伴奏楽器としてもチェンバロやテオルポなどと共に、通奏低音楽器として欠かせない楽器でした。

ガンバが貴族の楽器であるとの根拠となっているのが、バルダッサーレ・カステリオーネが1528年に出版した著書《カステリオーネ宮廷人》(1987 東海大学古典叢書)です。16世紀初期の宮廷生活を生き生きと描写し、ガンバ・コンソートについて、「ヴィオラ・ダ・ガンバの伴奏に支えられた朗唱ほどに美しいものはありますまい。…四本のヴィオラ・ダ・ガンバもその技巧性と甘美さゆえに捨てがたい味わいを持っております」と熱狂的に記述しています。

17世紀フランスでヴァイオリンとの性格のちがいをジャン・ルソーは、1687年に出版した《ヴィオール概論》(共訳: 関根敏子、神戸愉樹美 1988 アカデミア・ミュージック株)に、「ヴァイオリンは人を活気づけ、ヴィオールは人の心を落ち着かせる(意訳)」と述べています。

18世紀後半に貴族社会が没落し、多くの市民が音楽を聴くようになり、構造的に大きな音がでないガンバが次第に使われなくなると、ル・ブランは、1740年《バス・ヴィオール擁護論》を出版し、社会制度の変化、聴衆の嗜好の変化、楽器能力のちがいを説明し、演奏テクニックの発展等の視点から擁護しました。そして、ガンバはロマン派時代には使われませんでした。19世紀の後半からの古楽復興の流れが今日につながっています。

(ニューグローヴ世界音楽大事典—神戸愉樹美、関根敏子訳—より一部引用)

日本には1561～62年にポルトガル宣教師A.サンチェスが、複数のヴィオラ・ダ・ガンバ violas de arco を大分県にもたらしました。ミサの補助としてオルガンの代わりに使いました。サンチェスはセミナリオの子供たちに教え、クリスマス、復活祭にも使った記述が残っています。大友宗麟(1562年)、織田信長(1581年)、豊臣秀吉(1591年)、豊臣秀頼(1607年)も耳にしました。